

目標達成計画

作成日：平成 30年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 26 | IADLについて、認知症が関わっているのか、どの程度まで支援をすれば良いか、加齢による低下なのか、再度検討する機会を持たれる事も良いと思います。 | IADLについての、再検討する機会を設ける。 | 一人一人の気づきを高めるため、担当職員、計画作成者がアセスメントを行い、ケアプランに反映させる。 | 6ヶ月 |
| 2 | 4 | ホームの昼食や防災訓練などの行事に運営推進委員も参加し、日常の様子を見て頂き、次回の会議の参考にして頂く。 | 運営推進委員の方に、入居者の日頃の様子などを実際に見て頂く。 | 行事などに運営推進委員も参加して頂ける機会を設ける。 | 6ヶ月 |
| 3 | 3 | 認知症について地域の方に理解して頂く。 | きらり町の子供会との交流を通じて認知症の理解を深め、地域との関係を築く。 | 区長に交流の働きかけを行い、交流の機会を作っていく。 区の総会に参加し、認知症紙芝居の活用を行い、認知症を知って頂く機会を作る。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。